「2011 年度第 2 回 RA 研究報告会」(2011 年 11 月 21 日)

参加者総数 33 (報告者・コメンテーター18、その他 RA5、教職員 8、その他 2)

アンケート回答者数 24

① ご自身について

1 教員 : 1 2 大学院生 : 23 3 学部生 : 0 4 大学職員 : 0 5 学外 (一般) : 0

② 良かった研究報告 (無回答 : 5)

芦谷さん (8) 領域の異なる聴衆の方々にも分かりやすい発表だったと思います。

松崎さん (5) テーマが面白い。音、映像、言語 (語い) の関与がどうなっているのか、成果を期待します。予断のない実験計画が重要なのでは (仮説を設けるにせよ)

井上さん (5) もっと観察例を増やす (5 つ位) と面白いと思います (その中に共通的要素と個別要素が抽出できたらよい)。この結果は企業などのマネジメントにも役立つかもしれないと感じました。例えば、保育者を課長、幼児を課員と考えると (もちろんレベルは異なりますが) 相通じるものがありそうですね。逆にマネジメントの世界での理論がこの研究に役立つかもしれません。

橋本さん (4)

榊原さん (2) 保育における演劇の意義の検討

越後さん (1) 「婦女鑑」編纂と西村茂樹

子浦さん (1)

③ 良かったコメント (無回答 : 8)

佐藤さん (6)

フロア全体、みなさん (3)

齊藤さん (2)

井上さん (2)

孫さん (2)

平野さん (2) 特別支援学校をフィールドに選んだのはなぜか

菊地さん (2) 子どもに対する“身守る”行為は大人同士、子ども同士でも教育、保育の場では大事だと思いました。

堀之内さん (1)

竹淵さん (1)

④ GCOE プログラム、RA 等院生支援プログラムなどについて、ご意見・ご感想をお知らせください。(無回答 : 10)

- ・ 本の出版を支援するシステムがほしい。専門をわかりやすく伝えるものとか。
- ・ 多くの発表からたくさんのことを学びました。貴重な機会を与えて下さりありがとうございました。
- ・ 他分野の方々から質問を受け新鮮に思いました。ありがとうございました。
- ・ 大変お世話になりました。ありがとうございました。必ず RA での支援のお礼を社会に還元していき貢献していきます。
- ・ 今日いろいろなお話が聞けて興味深かったです。

- ・ 発表者を正面にしていくことができる部屋だったので見やすく発言もしやすかったように思う。
- ・ 大変助かりました。学会活動でやむを得ず欠勤になることが何度かあり、学会などの学術活動について、欠勤以外の手続きがあればなお幸いでした。
- ・ 意見交流が活発で勉強になりました。
- ・ 領域の異なる研究に触れられたことが良かった。研究の多様な視点がプログラムの中にあり、それらの研究がサポートされる本プログラムの意義を実感することができました。貴重な研究報告会ありがとうございました。
- ・ RA 院生支援プログラムによる経済的支援に支えられて研究を続けられることができています。博士課程の学費の高さ（学部と同金額）では、正直研究を続けることが困難になると思います。このような支援の続行を願うばかりです。
- ・ 他分野の研究者の報告を聞く機会を与えて下さりまして有難うございました。プレゼンテーションの方法等大変参考になります。
- ・ RA 報告会は別の博士の学生がどのような研究に取り組んでいるのかを聞けて、自分自身の励みになりました。小さな世界（自分の研究分野のみ）で研究するのではなく、時々このような会も必要だと思いました。RA の支援を頂けて大変助かりました。アルバイトなどしない分研究に打ち込めることができました。ありがとうございました。
- ・ 領域が異なる研究でも関心をもって聴くことができとても興味深かったです。とてもわかりやすく解説して下さる報告者と理解を促すコメンテーターのコメントでより理解が進んだと思います。こうした研究報告会が来年度以降も続き研究交流ができればよいのかなと思いました。
- ・ 異なる専攻の学生の研究を聞くことができ、大変貴重な体験になっております。研究はさまざまな視点が必要とされることを考えているからです。GCOE の RA プログラムは今年で終了になると聞いておりますが、2012年度以降にもあれば研究に大変助けることになります。できれば、また実施することを祈っております。